

# 宮水コミスク通信

令和4年度  
第2号  
令和4年10月27日(木)  
日之影町立宮水小学校

## 第2回学校運営協議会終わる

【日程】令和4年10月25日(火) 13:30～15:30

### 1 開会行事(学校長あいさつ等)

### 2 学校による説明(本年度の取組の経過説明)

「学力の向上」「豊かな心の育成」「すこやかな体の育成」「家庭・地域との連携・協働」の4つの視点からプレゼンを使って委員の皆様方に説明しました。



### 3 授業参観

主に、子どもたちの学習態度やICTを活用した授業の様子について熱心に参観していただきました。手をまっすぐ挙げ積極的に発表したり、グループ学習でタブレットを活用しながら一生懸命に自分の考えを述べたりなど、どの学級でも真剣に学習に取り組む児童の姿を見ることができました。



【たんぽぽ学級】



【3年生教室】



【4年生教室】

### 4 グループ協議

今回は6年児童が参加し、3つのグループに分かれて協議を行いました。「宮水小の児童のがんばっているところやもう少しなところ」について、まず6年児童が発表し、それに対して地域や保護者の方に意見を発表してもらいました。次に、6年児童に「こんな学習がしたい！」など学校に対する希望を発表してもらいました。最後は、地域や保護者の方から、「児童に対する思いや願い」について語っていただきました。児童らはもっと緊張するかなと思いましたが、堂々と意見を述べることができ、頼もしさを感じることができました。これも日頃の授業実践の積み重ねの表れかなと思いました。



【1班】



【2班】



【3班】

※グループ協議の主な内容は裏面に印刷してあります。

### 5 全体会(各グループの報告)

### 6 閉会行事(アンケート記入)

【グループ協議のまとめ】※下表の１は１班の意見、２は２班の意見、３は３班の意見です。

【よくできていること・がんばっていること】

- 子どもたちは、「地域でのあいさつ」「毎日元気に外で遊ぶ」「他校と交流のときに積極的に交わる」「なんでもやりとげること、あきらめないこと」などの意見を出してくれました。家でも「弟のお世話」「学校であったことを毎日お家の人に話すこと」「自分の仕事としての洗濯物たたみ」などを頑張っていることが分かりました。大人の方からは、みんなの元気なあいさつの影響でいつのまにか自分も大きな声であいさつをしていることに気づいたとか、高校時代の部活動での厳しいあいさつ指導、などのエピソードが出され、子どもたちも真剣に聞いていました。
- 子どもからは、「返事が大きい」「発表」「分からないことをそのままにせず大人に質問するところ」「友だちにやさしい」などの意見が出されました。一方、大人からは、「まず自分たちのいいところを言えることが素晴らしい」「授業中の反応が早い」「はきはきしているのでそのまま育ってほしい」「グループ活動での発表が素晴らしいので、今後もこの力を伸ばしてほしい」などの意見が出されました。
- 子どもからは、「会釈」「自分の頑張る目標を立てていること」「あいさつ」などの意見が出されました。大人からは、「自分の考えを伝えることができるようになり成長を感じた」「このような場でもしっかりと意見を伝えられることが素晴らしい」「あいさつは進んでしてくれている」などの意見が出されました。

【あまりできていないこと・もっとがんばらないといけないこと】

- 「家で、親に言われないとプリントを見せない」「目を見て話さない人、目を見て話を聞いてくれない人がいる」「朝のボランティアに出る人が少ない」「呼ばれても返事をしない人がいる」などの意見が出ていました。その中で、特に「目を見て話すこと、目を見て話を聞くこと」の大切さについて、意見が集中しました。「話をしているときに視線が合わないと、自分に興味がないのかなと不安になる。」という子どもの声があり、とても大切な意見が出ました。
- 子どもからは、「友達同士のあいさつ」「下級生への言葉遣い」「朝のボランティア（下級生）」「あいさつの声が小さい」などの意見が出されました。一方、大人からは、「あいさつはよくできていると思う。できる時とできない時もあると思うがそれでいいと思う。」「あいさつはよくできていると思う。あいさつは心がこもっているかが大事。形式的にならないように。」などの意見が出されました。
- 子どもからは、「行事で感想や発表を言うことができていない」「全体的に返事がありにくい」「あいさつや返事をしたほうがよい場面かわからない」「誰かがしてくれるだろうと思ってしまう」などの意見が出されました。大人からは、「はっきりわかる場面でのあいさつや返事はできているが、そうでないときは言う子と言わない子がいる」「自信をもってやってみるとよい」という意見が出されました。

【こんな学習がしたい、こんな体験活動をしてみたいなどの学校に対する希望】

- 子どもたちは、まるで相談したかのように全員が、昨年度経験した「土木の日」の体験授業をもう一度やりたいと話しました。続いて子どもたちは、自分たちには見えていない部分の仕事（表に見える仕事を裏で支えている人）を見てみたいとか、林業を体験してみたいなど、職場体験授業につながるような意見を出してくれました。子どもらしい夢のある話だといった感想が、大人から出されました。
- 子どもからは、「５年生の時にやった土木の日」「自由に使える時間が欲しい」「高齢者とのものづくり」「機械を使った体験活動」などの意見が出されました。一方、大人からは、「将来の夢（目標）に向かってがんばってほしい。自分なりの軸となるものをしっかりもってほしい」「今やりたいことを大切にして、それを一生懸命取り組んでほしい。」などの意見が出されました。
- 子どもからは、「自転車で日之影町をたんけんしたい」「青雲荘との交流をしたい」「外国人との交流をしたい」「ホームステイをしたい」などの意見が出されました。大人からは、「コロナ禍で中止になっていることも多いので、ＩＣＴを使って工夫してできることもあるので、アイディアを出しながらやっていけるといいね」などの意見が出されました。

